

## 派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2016/4/1～4/30)

### 1. 勉学の状況

4月にとっていた授業は、Spanish2、Suomi1、Cross-cultural Management and Marketing Communications、Knowledge Management、Doing Business in English、International Human Recourse Management、Cultural Events and Creative Economy とでした。

Spanish2 は、最終日にテストがありました。中間テストからあまり経ってなくて範囲が狭かったにもかかわらず、テストの手応えがそこそこで心配しましたが、最終的に満足のいく結果が残せていたので一安心しました。

Suomi1 は中旬で終わり、引き続き Suomi2 を取ることにしました。時間と受講者が多少変わっただけで、今まで通り教科書に沿って進められていくようです。学校の授業とかぶることもあり毎回参加できるわけではないので、おいて行かれないように自分で勉強する時間を大切にしたいと思います。

Cross-cultural Management and Marketing Communications では、プレゼンテーション、ロールプレイングビデオ、テストと1か月の間に大きな課題が3つありました。プレゼンテーションでは“McDonald in India”をテーマにマクドナルドがインドで成功した秘訣を文化的側面から分析し発表しました。今や世界中にあるマクドナルドですが、一貫性を保ちつつメニューやコンセプト、値段を地域によって少しずつ変えることで、その地域の人から受け入れてもらいやすくなり成功を取っています。インドで海外企業が商売するのは難しいといわれてきた中、文化に適合させ成功したマクドナルドの話を通して、文化というのはそれだけ人々に根強く関わっていて、ビジネスを展開する上で重要なポイントとなると思いました。ロールプレイングビデオでは“Informal”をテーマにビジネス上起こり得る場面を再現しビデオを作成しました。私はどのような段取りでやるかきっちり決めてから進めたかったのですが、ナイジェリア出身の子がそんなの流れで決めればいいんだよなどと言いながら進めているのを見て、まさにこれが Informal スタイルだなと思いました。それぞれのグループが作ったビデオを観ると、ユーモアたっぷり面白かったです。これはフィンランドだからこそ成り立つ課題であり、日本だとカメラの前で演じることにに対して恥じる人が多く上手くないと思います。

Knowledge Management では、月末に最終プレゼンテーションがありました。グループごとに企

業を選び、自分たちの知識を使いその企業をどう発展させていくことができるかという課題で、私のグループは“Unilever-Sustainable Living”をテーマに沿って進めました。漠然と課題だけを聞くと範囲が広すぎてどのようにすべきかわかりませんでした。話し合っていていくうちに具体的に過程が見えてきて、このプレゼンテーションを通して少しはビジネスにおける「知識管理」の方法をつかめたと思います。また、どこのグループもパワーポイントの質が高く驚きました。それぞれのテーマに沿った背景や色合い、さらに独自にグラフや図を作り、聴き手の興味を引くような統一感があり見やすいスライドに仕上がっていました。話すことだけに意識を向けてしまいがちですが、パソコンのソフトを使いこなせるようにし、視覚教材にも力を注いでいけばより魅力的なプレゼンテーションを作ることができると思うので、参考にしていきたいです。

Doing Business in English では、毎週のようになにかしら人の前で英語を披露する機会があり、その度に自分の英語力について考えさせられます。グループで行うプレゼンテーションがあり、私のパートは暗記していたのですが、パワーポイント上に思わぬことが起きると焦り言葉に詰まりました。また模擬商談をする機会があったのですが、そこでは他の人に比べ発言回数が少なかったと反省しています。何かと反省点を見つけることが多い授業なので、ここで学んだことを今後生かしていきたいと思います。

International Human Resource Management は、新しく始まった、国際的な人的資源管理の課題と国際的な企業の成功のための人的資源の方針について考えていく授業です。この授業はとにかく課題が多く、もしある人が出張で海外行くことになったら、数年間海外で暮らすことになったら、会社はその人やその家族にどのような支援をすれば良いかなどをさまざまな例を用いて考えていきます。課題によっては他の人の意見も moodle 上で見られるので、自分が思いつかなかったような考えもあり今後の参考になります。日本とフィンランドを生活費や給料など金銭面で比較する課題があったときに、あの物価が高いといわれているフィンランドより日本の方が生活費がかかることを知り驚きました。ちなみに一番かかるといわれているのはスイスです。海外に住んで仕事するなんて素敵！と思い込んでいましたが、実際に考えてみると多くの問題が生じる可能性があります。そんな夢のように甘くないことがよく分かりました。

Cultural Events and Creative Economy では、タンゴを中心として授業が進められていました。授業は毎回1時間タンゴの練習から始まり、思っていた以上に動くので運動不足の私にとって良いエクササイズでした。基本のステップに少し凝った技が入ると難しく学生同士だとなかなかスムーズに踊れないのですが、先生とは踊りやすく初心者の私でもタンゴっぽく踊れたので、タンゴにおいて男性の役割は大きいと実感しました。練習後は、タンゴを使ってどのようなビジネスを展開できるかという最終課題のため講義やグループワークを行いました。私は理学療法を学んでいるスロベニア人とビジネスを教えているフィンランド人の先生と3人でグループを組み、お

互いの分野を生かせるように“Tango Therapy in Japan”というテーマにし、計画を進めました。他のグループとかなりテーマが異なっていたこともあり、プレゼンテーション後の投票では最多数を獲得することができて嬉しかったです。ビジネス計画を立てる際には、有益性を主張するために細かな部分まで調べ考えていく必要があること、自分が伝えたいことだけでなく、聴き手が欲しいと考えられる情報を基にプレゼンテーションを行うべきなどということ学びました。

## 2. 生活の状況

明るすぎるのではと思うほどさらに日が伸びて暖かくなってきました。上旬に雪もすべて解けてようやく春が来たと思いきや、また0℃まで下がって雪も降り冬に逆戻りという日もあるフィンランドの天気は本当に理解できません…。天気が良いと太陽の恩恵を受けようと寮の目の前にある芝生に学生たちが日光浴しに集まり賑わいます。このような日が増えると思うと夏が待ち遠しいです。

私事ですが初めて海外で誕生日を迎え、たくさんの友達に祝福してもらいました。1人で誕生日を過ごすのは嫌だなと思いルームメイトに予定を聞くと朝から夜まで実習があるとわれ、他の友達とは前日に集まってBBQをしていたし、さらにその3日後にピザパーティーを約束していたなど誘いづらい状況でした。するとある友達に出かけるよと言われレストランに連れて行ってもらい、さらにその後家に帰るとルームメートをはじめとした友達たちが待機していてサプライズパーティーを開いてくれました。本当に何も知らなかったのもとても驚き、今期一番並みに嬉しかったです。みんなのおかげで楽しく思い出に残る誕生日を過ごすことができました。

フィンランドでは、5月1日はVappu（メーデー）という祝日で、多くの人が屋外に出て春の到来を祝います。これは1年で一番大きなイベントと言っても過言ではないぐらいのもので、それに向けて3日前から寮の前にジャグジーが現れ、DJが来て、BBQスペースができるなど連日大いに盛り上がりました。Vappu 前日には、町中に老若男女関わらず高校卒業時にもらえる白い帽子をかぶった人や仮装した人が大勢歩いていてセイナヨキも活気に満ちていました。日本だとメーデーだからといって特別何か祝うことはないのも、その差に驚きつつも楽しいひと時を過ごしました。



誕生日



Vappu